

実践例2 小学校社会科 鹿児島市立星峯西小学校
第5学年「これからの食料生産とわたしたち」

「学習者主体の授業」づくりのポイント

- 小単元の学習問題「食料生産にかかわる課題解決のために、どのような工夫や努力が行われているか調べ、これからの日本の食料生産の在り方を提案しよう」を設定し、資料や学び方等を自己選択・自己決定し、他者と協働しながら、問題解決的な学習を展開できるようにしている。
- これからの食料生産に関する意見文作成は国語科の授業（「資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう」）で取り扱い、教科横断的な学習として単元を構成している。
- 【追究の柱】に基づいて追究した内容について、児童自身が形成的評価を行うことで、自分の学びに合う学び方をより適切に選択・判断できるようにしている。



「課題・めあて」の自己選択・自己決定

（予習）前時～家庭学習

- 見いだした問いを基に、追究計画を立てる。

【児童が見いだした問いの分類】

「食料生産の課題について」、「日本の食料自給率について」、
「食の安全性について」、「食の安定性について」

【追究の柱】

「食料自給率低下の原因と問題点」、「食の安心・安全を守る取組」、
「食料を安定して確保する取組」

- 問題解決の見通しをもつ。
- 問いを追究する。



一人で、どんどん調べて
いけそうだ。

班で分担して調べ、共有し
たいな。



💡 ポイント 💡

- 小単元のガイダンス（第1時）において、既習事項を振り返りながら、シンキングツール等を基に、児童が問いを見いだす活動を位置付けることが大切です。
- 【追究の柱】は、小単元の学習を通じて働かせてほしい教科の「見方・考え方」を基に、児童の問いを分類したり関連付けたりしながら設定していきます。

（本時）

- 「児童と共有する評価の例」を基に振り返りの視点を確認する。
- 自分の学習の進み具合を確認する。



何を使って調べ、誰と、どのよう
に学習を進めていきますか。自分に
合った方法を選択して進めていきま
しょう。





「道具・活動」の自己選択・自己決定



「解決方法・考え方」の自己選択・自己決定



「学習形態・スタイル」の自己選択・自己決定

○ 問いを追究する。



調べ方が分からないときは友達と協力して解決してみよう。



タブレットを使って、友達の学習履歴を見ると、とても参考になるよ。



🔗 ポイント 🔗

- 児童が予習で調べた内容を本時まで確認し、一人一人の学習状況を的確に把握した上で、個への働きかけを具体的に検討することが必要です。例えば、必要な他者と協働で学習を進めたり、他者の学習履歴から調べる内容や方法を参照したりするように促すことで、児童自らが形成的評価を行いながら、自分の学びを深めていけるようにすることが大切です。

○ SSGs※を活用して、本時までの振り返りを行う。

社会科【食料生産編】5年 小単元「4」 これからの食料生産とわたしたち

SSGs(Social Studies Goals)

小単元の学習問題
食料生産に関わる課題の解決のために、どのような工夫や努力が求められるのか、これからの食料生産のあり方を考える。

My Goals(私の目標)
食料生産に関わる課題の解決のために、どのような工夫や努力が求められるのか、これからの食料生産のあり方を考える。

問い No.1	問い No.2	問い No.3
なぜ、日本の食料自給率は低いのか？ 食料自給率が低いことについて調べよう。	海外産に、なぜ、安全な食料を求めるのか？ 海外産の食料を求める理由について調べよう。	食料を安定して確保するために、何が、どのような取り組みを行っているのか？
SSGs No.1 日本は、食料を自給率により確保することが必要である。食料自給率を高めるために、どのような取り組みを行っているのか？	SSGs No.2 消費者は、安全・安心な食料を求めるために、スーパーマーケットや惣菜店の人々が、トレーサビリティの取り組みをすすめている。輸入食品に対するきびしい衛生管理が行われている。	SSGs No.3 食料を安定して確保し、日本の食料自給率を高めるために、JAや農業法人の人々が、地産地消の取り組みや、農業法人を設立して食料生産で働く人を増やすなどの取り組みを行っている。
振り返り(振り返りシート)振り返りシート 【うまくいったこと】 食料自給率の低い理由と、その低い理由を調べることができた。 【うまくいかなかったこと】 特になし 【次の学習に生かすこと】 食料自給率を高めるために、どのような取り組みを行っているのか？を調べよう。	振り返り(振り返りシート)振り返りシート 【うまくいったこと】 海外産の食料を求める理由と、その低い理由を調べることができた。 【うまくいかなかったこと】 特になし 【次の学習に生かすこと】 海外産の食料を求める理由と、その低い理由を調べよう。	振り返り(振り返りシート)振り返りシート 【うまくいったこと】 食料を安定して確保するために、何が、どのような取り組みを行っているのか？を調べよう。 【うまくいかなかったこと】 特になし 【次の学習に生かすこと】 食料を安定して確保するために、何が、どのような取り組みを行っているのか？を調べよう。

小単元のまとめ
日本は、食料を自給率により確保することが必要である。食料自給率を高めるために、どのような取り組みを行っているのか？を調べよう。

振り返り(振り返りシート)振り返りシート
【うまくいったこと】
エーコープの石神さんにまだ自分が疑問に思っていることや、エーコープで取り組んでいることを粘り強く聞くことができた。
【うまくいかなかったこと】
特になし
【次の学習に生かすこと】
石神さんが教えてくれた発表の時のアドバイスなどを資料にまとめて資料をよりよくしたい。

※ Social Studies Goals は、振り返りのためのデジタルワークシートの名称

SSGsは、調べたことや自分の考え、自分の学び(粘り強さ・自己調整)について、小単元の適切なタイミングで記録できるように作成したワークシートである。

🔗 ポイント 🔗

- 自分の学びを振り返る際に、「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」、「次の学習に生かすこと」の視点で記述させることで、児童は、自分の学びの変容を捉え、自己調整を図ることができます。
- 振り返りの視点を確認する際に、めざす学びの姿を具体的に共有しておく必要があります。また、授業過程で、振り返りの視点を参照する場面を適宜設けることが大切です。

実践例3 小学校算数科 垂水市立新城小学校
第5学年「小数のわり算」(12/13時) 第6学年「分数÷分数」(4/9時)

「学習者主体の授業」づくりのポイント

- 前時に本時の学習課題を立て、家庭学習で自分の考え等をまとめ、それを基に、本時はペア及び全体の協働的な学びから始めることで(予習型反転学習)、意見を交流する時間を十分に確保し、自分の考えをより深めることができるようにしている。
- 児童が取り組む教材(教科書、計算ドリル、AIドリル等)を自己選択・自己決定できる場を設定することで、自ら進んで課題解決に取り組む姿勢を身に付けることができるようにしている。

- 本時の学習活動を確認する。

今日の学習活動については、前の時間に確認していますね。
今日はどのようなことができるようになりますか。



「小数のわり算」の総仕上げだ。
計算を正確にできるようにしたい。



文章を正しく読んで、式に正しく
表して解けるようにしたい。



今日の内容を予習してきたよ。
約分や逆数を意識して計算をす
すら解けるようにしたい。



発展問題にたくさんチャレンジ
したい。



「課題・めあて」の自己選択・自己決定

- 本時のめあてを確認する。

それでは、自分の言葉でめあてを決定しましょう。



【5年 学習課題】

小数のわり算の学習の総仕上げを自分
の計画に沿って取り組もう。

【6年 学習課題】

わられる数が整数や帯分数のときの計
算はどのようにとけばよいのだろうか。

💡 ポイント 💡

- 学習の見通しをもつために、学習計画表を配布し、単元全体及び、本時の見通しをもてるようにする。
- タブレット端末で予習してきたことを基に、本時で何を学ぶのか考えさせる。十分な意見交換ができるようにデジタルノートを活用した予習をさせておく。
- 家庭学習で取り組んだ学習課題を基に、自分の言葉でめあてを板書させることで自ら学び考えながら学習に取り組むことができるようにする。



「道具・活動」の自己選択・自己決定



「学習形態・スタイル」の自己選択・自己決定

- 学習活動の見通しをもつ。
 - 学習計画表を基に取り組む課題や、教材の選択を行う。
 - 見届け問題及び振り返りを、活動時間内に取り入れられるよう学習の進め方を示す。



文章題が苦手だから、4 ます関係表の問題を、まずは自分でやってみよう。



筆算が分からなくなったら、友達に教えてもらおう。

- 各自が立てためあてに沿った学習を進める。

- 予習事項について友達と学び合う。



前の時間との違いは、両方とも帯分数や整数が式に入っているところです。だから、帯分数を仮分数に直して計算すればいいと思います。整数が入っているときは…。

- 学習活動の見通しをもつ。

面積が 2.6 cm の平行四辺形があります。
底辺の長さは $2\frac{3}{5} \text{ cm}$ です。高さは何 cm ですか。



高さは、面積÷底辺で求められそうだ。

ポイント

- 児童が取り組む教材（教科書、計算ドリル、AI ドリル等）や、活動に取り組む順序（練習問題、振り返り・まとめ、家庭学習の計画等）を自己選択・自己決定できる場面を設定することで、自ら進んで課題解決に取り組む姿勢を身に付けられるようにする。
- 児童に順序を選択して、学習を進めてもよいことを告げ、主体的に学習に取り組めるようにする。そして自分の優先順位に沿って学習を進めるよう、机間指導を通して適宜助言する。

- 次時の単元テストまでに必要な家庭学習の計画を立てる。



小数点の付け方を復習しよう。



文章題を練習しよう。

- 本時の振り返りを発表する



- 各自が立てためあてや目標に沿った学習を進める。また、児童同士が協力して設定された時間内で問題に取り組めるよう学習の進め方を示しておく。



整数を分数に表して、帯分数を仮分数にして逆数をかければ…。

逆数をかけたら分子がすごい数になってしまった。本当にこの計算方法でいいのかな。

- 次時の見通しをもつ。
- 本時を振り返り、まとめを発表する

ポイント

- 本時の振り返り及びまとめは、5・6年合同で行い、異なる学年の課題解決の方法のよさに気付けるようにする。
- 次時の学習課題をデジタルノートで示し、学習の見通しをもたせる。
- 予習事項は家庭学習で取り組み、次時の前に必要に応じて支援をする。